



日本女子大学附属高等学校

Japan Women's University Senior High School

入試 Q&A

2027 年度 入学生用

Q 1. 2027 年度の入試について、概要を教えてください。

A. 下記の通り実施する予定です。募集要項は9月以降、本校のホームページに掲載いたします。

1月22日 (金) 推薦入試 … 約65名募集

2月10日 (水) 一般入試①(専願区分・オープン区分)

2月11日 (木・祝) 一般入試②(併願区分)

計 約65名募集

※海外帰国生徒入試は上記の一般入試①と同一で、募集人員を特に定めていません。

日程		区 分 相談・試験	併願	推薦	専願	フロンティア	オープン	
月	日							
12	15	進路相談	成績基準（中学校3年次の2学期または前期）					進路相談なし
			9教科 42以上	9教科 41以上	9教科 39以上	基準なし （9教科38以下）		
	17 18 19	進路相談 予備日						
1	22	推薦入試		面接				
2	10	一般入試 ①			3教科 筆記試験 ＋ 面接		3教科筆記試験＋面接	
							優遇措置あり	優遇措置なし
	11	一般入試 ②	書類 ＋ 面接					

Q 2. 推薦入試の詳細について教えてください。

A. 推薦入試へ出願を希望される方は、12月15日(火)までに在籍中学校を通じて本校へ事前にご相談いただく必要があります。出願資格は、次の①～④に該当し、在籍中学校の校長先生が責任を持って推薦して下さる方です。

- ①2027 年 3 月に日本国内の中学校を卒業見込みで、本校を第一志望とする者。
- ②中学校 3 年次の 2 学期（2 学期相当も可）または前期（12 月時点も可）の 9 教科の 5 段階評定の合計が加点を含めて 41 以上の者。
- ③中学校生活を意欲的に過ごし、高校生活を健全に送ることができる見込みの者。
- ④入学後、保護者の元から通学できる者。

ご相談の結果は、12 月 16 日(水)に本校から在籍中学校へお伝えいたします。

ご相談の際の成績は、中学校 3 年次の 2 学期（2 学期相当も可）または前期（12 月時点も可）の 9 教科の 5 段階評定を在籍中学校から提出していただきます。その際に、下記の通り加点制度を設けています。

【加点について】

下記の①②のいずれかに該当する場合は、9 教科の 5 段階評定の合計に 1 点を加点します。
但し、①②の複数に当てはまる場合も加点は 1 点のみとします。

- ①3 年次に生徒会役員（会長・副会長・会計・書記）、クラブ部長であった者。
または名称は異なるが、在籍の中学校長から役職相当であると認められた者を含む。
- ②実用英語技能検定・実用数学技能検定・日本漢字能力検定のいずれかの準 2 級以上を取得している者。

上記の加点制度を利用される場合は、12 月 15 日(火)までに在籍中学校を通じて本校へご相談いただく際に、その旨（上記の①または②の具体的内容も含めて）をお知らせください。

Q 3. 推薦区分を希望しても進路相談の結果、専願区分やオープン区分での出願となることがありますか。

A. 上記の推薦入試の出願資格を満たした上で、12 月 15 日(火)までに在籍中学校を通じて本校にご相談いただければ、全員が推薦区分となり、安心して 1 月 22 日(金)の推薦入試に臨んでいただけます。

Q 4. 推薦入試の面接について、詳細を教えてください。

A. 推薦入試は面接のみで、面接は一回のみ 10 分ほどです。調査書に書かれている内容を参考に、中学校生活や、出願時に提出していただく志望理由書の内容についてお尋ねします。

Q 5. 海外の学校に在籍していても、推薦入試が受けられますか。日本人学校なら可能ですか。

A. 推薦入試の出願資格は「日本国内の中学校を卒業見込み」としています。従って、日本人学校も含めて、海外の学校を卒業見込みの場合は、推薦入試に出願できません。海外帰国生徒としての出願資格がある場合は、海外帰国生徒入試をご利用ください。

Q 6. 一般入試Aの専願区分について、詳細を教えてください。

A. 専願区分へ出願を希望される方は、12 月 15 日(火)までに在籍中学校を通じて本校へ事前にご相談いただく必要があります。出願資格は、下記の①～④に該当する方です。

- ①2027 年 3 月に日本国内の中学校を卒業見込みで、本校を第一志望とする者。
- ②中学校 3 年次の 2 学期（2 学期相当も可）または前期（12 月時点も可）の 9 教科の 5 段階評定の合計が 39 以上の者。
- ③中学校生活を意欲的に過ごし、高校生活を健全に送ることのできる見込みの者。
- ④入学後、保護者の元から通学できる者。

ご相談の結果は、12月16日(水)に本校から在籍中学校へお伝えいたします。

ご相談の際の成績は、中学校3年次の2学期(2学期相当も可)または前期(12月時点も可)の9教科の5段階評定を在籍中学校から提出していただきます。推薦区分と同様に、専願区分でも加点制度を設けています。

Q 7. 専願区分を希望しても進路相談の結果、オープン区分での出願となることがありますか。

A. 上記の専願区分の出願資格を満たした上で、12月15日(火)までに在籍中学校を通じて本校にご相談いただければ、全員が専願区分となり、安心して2月10日(水)の一般入試④に臨んでいただけます。

Q 8. 一般入試④のオープン区分について、詳細を教えてください。

A. オープン区分の場合、12月の進路相談の必要はなく、出願資格は下記の①②に該当する方です。

①2027年3月に日本国内の中学校を卒業見込みの者。

(中学校の課程を修了した者、またはこれに準ずる学校を卒業した者も可)

②入学後、保護者の元から通学できる者。

Q 9. 一般入試④の試験について、詳細を教えてください。

A. 3教科(英語・国語・数学)の筆記試験と面接です。

筆記試験は、英語(50分)・国語(50分)・数学(60分)で、3教科とも100点満点です。

面接は一回のみ3分ほどで、中学校の生活・社会への関心・将来の抱負などをお尋ねします。

Q10. 推薦区分・専願区分の成績基準を満たせない場合は、オープン区分しか出願・受験できませんか。

A. 残念ながら加点制度を利用しても推薦区分・専願区分の成績基準を満たすことができない場合は、ぜひ新設のフロンティア区分をご利用ください。進路相談の段階ではフロンティア区分として受け付けますが、その年の相談人数の状況に応じて、専願区分またはオープン区分に振り分けられます。

進路相談の結果、フロンティア区分から専願区分に振り分けられた場合は、安心して2月10日(水)の一般入試④に臨んでいただけます。一方で、進路相談の結果、フロンティア区分からオープン区分に振り分けられた場合でも、2月10日(水)の一般入試④において優遇措置をして可否判定をいたします。

Q11. フロンティア区分の内、専願区分とオープン区分に振り分けられる成績の具体的な基準は、9教科の5段階評定の合計でどれくらいですか。

A. その年の進路相談の人数や成績分布によって変動しますので、他の区分とは異なり、フロンティア区分は明確な成績の基準を事前にお示しすることができません。

Q12. オープン区分で合格するのは、なかなか難しそうですか。

A. 本校への入学を志望されるのであれば、今回から推薦区分・専願区分の成績基準を明確に設定して公開いたしますので、まずはこの二区分を目指して日頃の勉学に励んでください。進路相談の際に出願資格を満たしていれば、安心して試験に臨んでいただけます。それでも残念ながらこの二区分の成績基準に達することができない場合は、ぜひ成績基準のないフロンティア区分もご検討ください。

最初からオープン区分に狙いを絞るのではなく、従来の推薦区分・専願区分に加えて新たにフロンティア区分も設けましたので、日頃の中学校の勉学に励まれて、加点制度も利用して少しでも良い成績を保持した上で、受験生ご自身のお気持ちと成績に応じて、本校の受験をご検討いただければ幸いです。

Q13. 他校との併願を考えていますが、オープン区分以外は併願不可ですか。

A. 推薦区分・専願区分は併願不可ですが、このたび併願区分を新設いたしました。

この併願区分は、他の国立・公立・私立各校との併願を可とするもので、第一志望校に合格した場合は、本校への入学を辞退しても構いません。12月の進路相談の段階で併願区分の出願資格を満たした場合、出願時に調査書と志望理由書を提出した上で、安心して2月11日(木)祝の一般入試⑥(書類+面接)に臨んでいただけます。この併願区分への出願を希望される方も、12月15日(火)までに在籍中学校を通じて本校へ事前にご相談いただく必要があります。併願区分の出願資格は、下記の①～③に該当する方です。

- ①2027年3月に日本国内の中学校を卒業見込みの者。
- ②中学校3年次の2学期(2学期相当も可)または前期(12月時点も可)の9教科の5段階評定の合計が42以上の者。
- ③入学後、保護者の元から通学できる者。

ご相談の結果は、12月16日(水)に本校から在籍中学校へお伝えいたします。

ご相談の際の成績は、中学校3年次の2学期(2学期相当も可)または前期(12月時点も可)の9教科の5段階評定を在籍中学校から提出していただきます。推薦区分・専願区分と同様に、併願区分でも加点制度を設けています。

Q14. 海外帰国生徒入試の出願資格を教えてください。

A. 下記の①②いずれかを満たし、入学後は保護者の元から通学できる方です。

- ①保護者と共に海外に在住した期間が小学校6年次6月以降に1年以上あり、中学校1年次(2024年度)の6月以降に帰国して、日本の中学校またはこれに準ずる学校を2027年3月に卒業見込みの者。
- ②2012年4月1日までに生まれ、保護者と共に継続して1年以上海外に在住し、日本の中学校に相当する海外の教育課程を修了した者、もしくは中学校に相当する海外の学校に在籍中の者。

なお、「海外帰国生徒」としての資格が認定できるかどうかにつきましては、出願の前に必ず本校の中高事務室までお問い合わせください。

Q15. 海外帰国生徒入試の入試問題は一般入試と同じですか。

A. 一般入試④と同日に同会場で同一問題を実施した上で、合否判定の際に優遇措置を実施いたします。

【お問い合わせ先】

〒214-8565

神奈川県川崎市多摩区西生田1丁目1番1号

日本女子大学附属中高事務室

TEL 044-952-6705

FAX 044-954-5450

e-mail n-fuzokuh@atlas.jwu.ac.jp

ホームページ <https://www.jwu.ac.jp/hsc/>

こちらのQRコードからも

本校のホームページへ

アクセスできます。

